

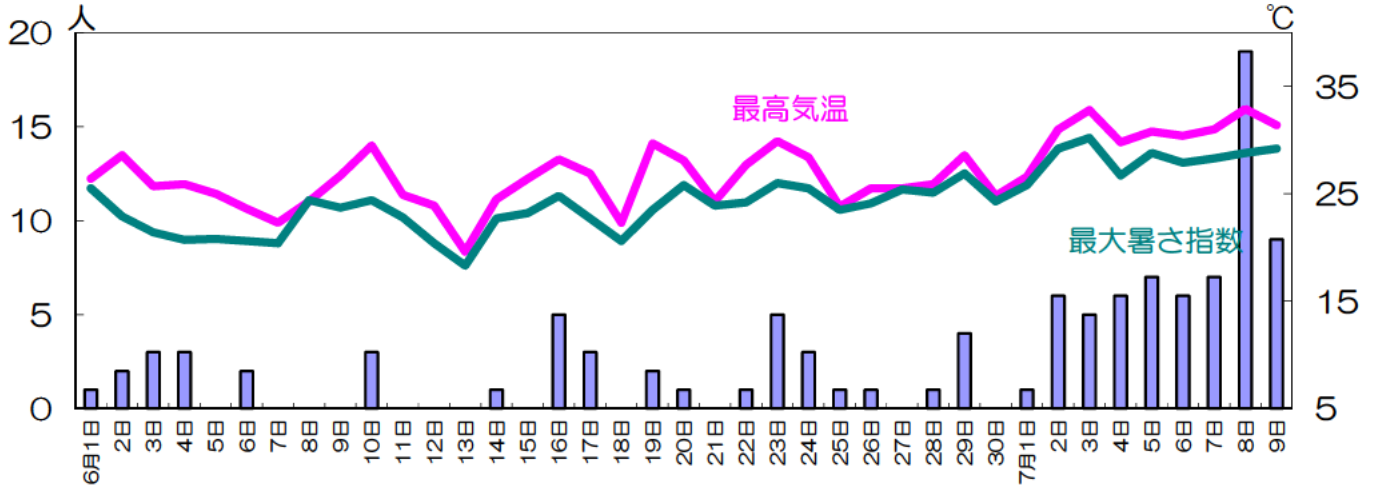
熱中症情報

<搬送数>

平成29年5月1日～7月9日までの搬送数（消防局データを使用）は、計156人（5月48人、6月42人、7月66人）でした。7月7日以降、最高気温30℃以上と真夏日が続いており、搬送数が増加しています。

真夏の暑さに、まだ体が慣れていないため、体温調節の機能がうまく働かず、体内に熱がこもってしまうことで熱中症は起こります。

こまめに水分を取り、室温は28℃を超えないようにエアコンで調節し、暑さから身を守りましょう。



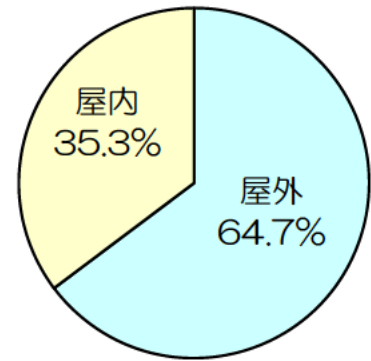
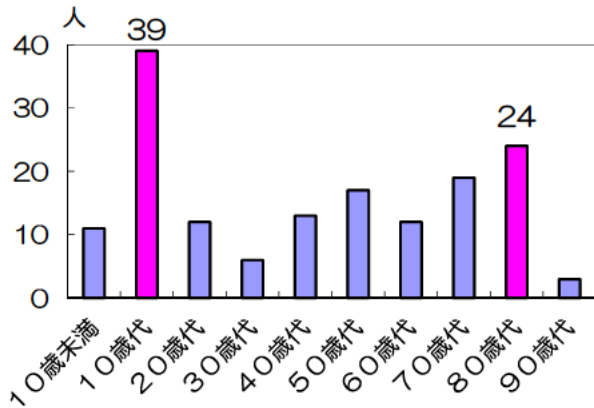
暑さ指数とは？人間の熱バランスに影響の大きい①気温 ②湿度 ③放射(ふくしゃ)熱の3つを取り入れた温度の指標
詳細は「環境省熱中症予防情報サイト（暑さ指数（WBGT）とは?）」をご覧ください。

<年齢別>

年齢別では、10歳代が25.0%と、一番多く、次に80歳代が15.4%でした。

<発生場所>

屋外64.7%、屋内35.3%で、屋外での発生が多くなっています。



<重症度>

軽症64.1%、中等症30.1%、重症3.8%、重篤1.9%でした。
高齢者（65歳以上）になると、中等症以上の割合が増加し、重症化の傾向が伺えます。

